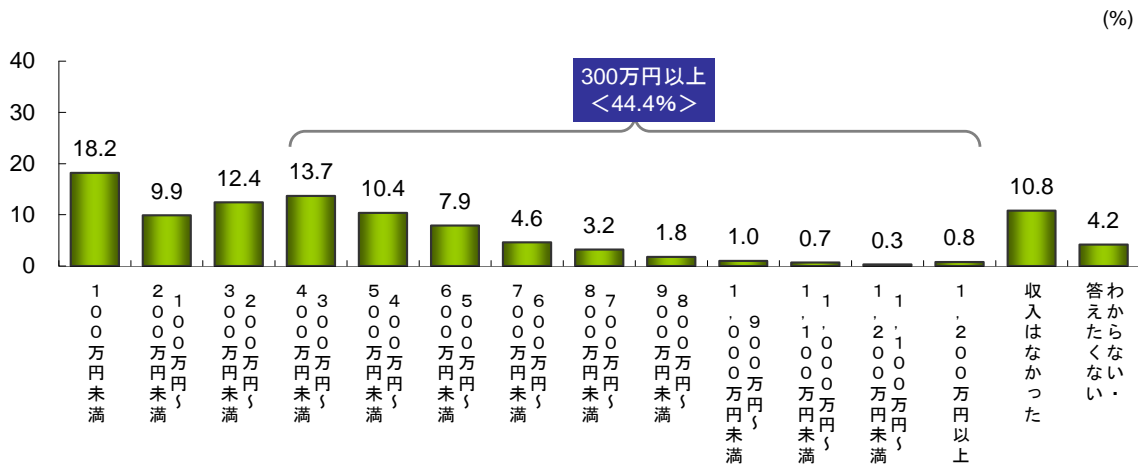


(4) 収入

無職者等も含めた回答者全員の個人年収（税金や社会保険料などの控除前）をみると、「100万円未満」が18.2%で最も多く、「300万円～400万円未満」（13.7%）、「200万円～300万円未満」（12.4%）、「400万円～500万円未満」（10.4%）が1割台で続く（図表16）。

後にみる結婚生活の開始に必要な夫婦の年収（p.151 参照）として回答率が增大する『300万円以上』の層は4割強である。

図表 16 個人年収 ※控除前

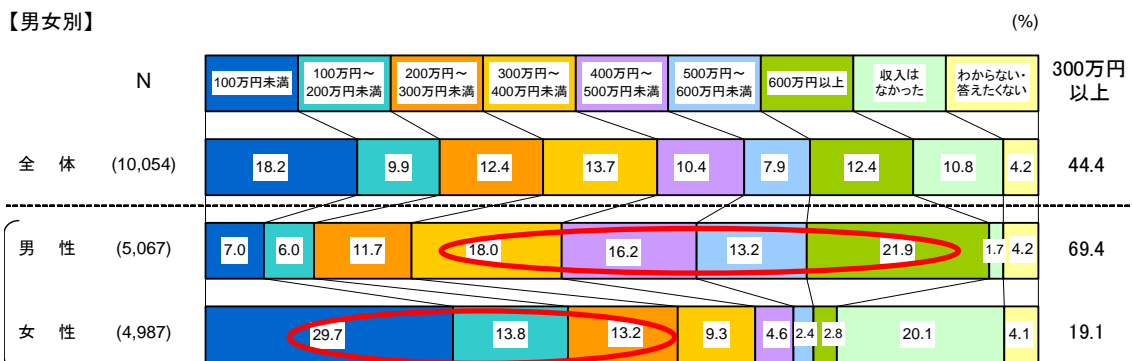


(N=10,054)

男女別にみると、「200万円～300万円未満」までを回答した者は、男性より女性の方が多くなっているが、「300～400万円未満」以上になると女性より男性が多くなっている（図表17）。

「収入はなかった」という回答者は、男性1.7%に対して、女性では20.1%となっている。

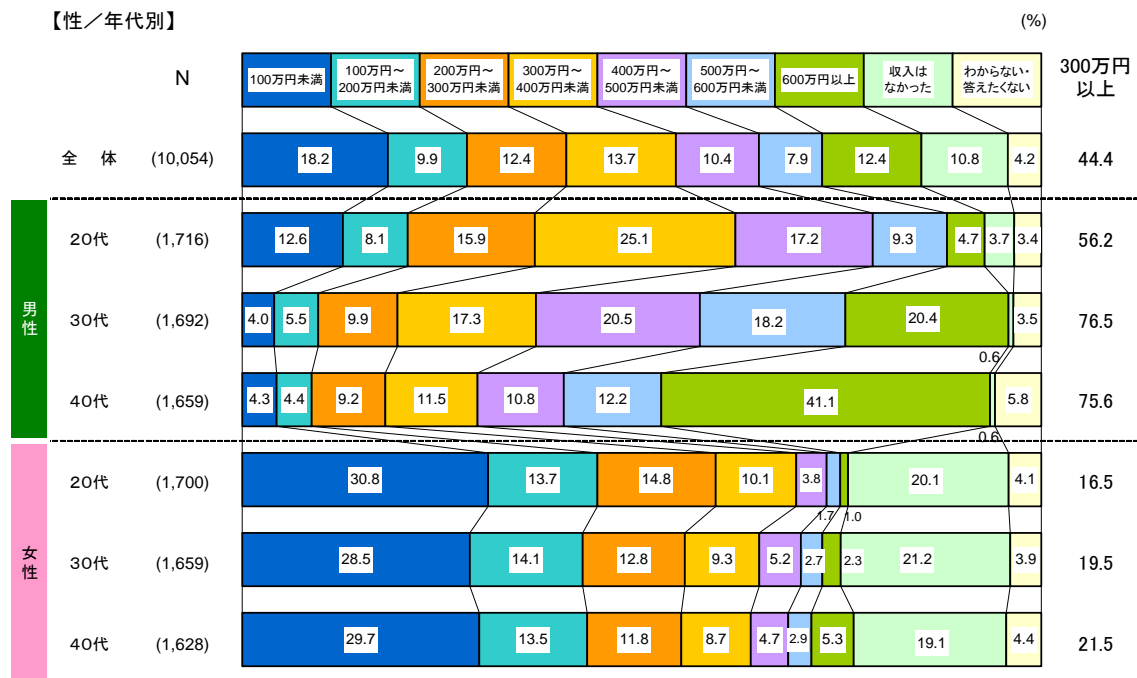
図表 17 個人年収（男女別） ※控除前



※年収600万円以上の回答を合算して表記。

個人年収を性・年代別にみると、男性では年代が上がるにつれて収入が高くなる傾向があるが、女性では年代によって大きく変わらない（図表 18）。

図表 18 個人年収（性・年代別） ※控除前

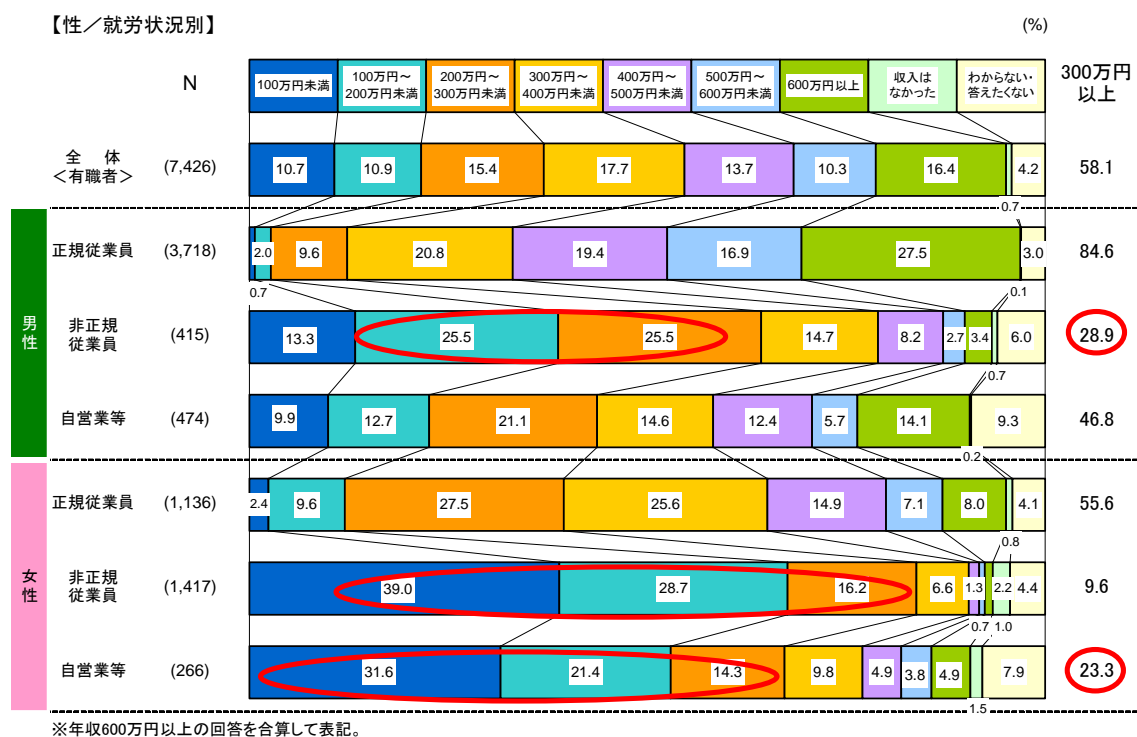


※年収600万円以上の回答を合算して表記。

有職者（7,426 人）について、個人年収を性・就労状況別にみると、男性の正規従業員では、「300 万円～400 万円未満」（20.8%）、「400 万円～500 万円未満」（19.4%）がそれぞれ 2 割前後で最も多く、8 割以上が年収『300 万円以上』であるのに対し、男性の非正規従業員では、「100 万円～200 万円未満」（25.5%）と「200 万円～300 万円未満」（25.5%）がそれぞれ約 25%と最も多く、年収『300 万円以上』の層は 3 割弱にとどまる（図表 19）。

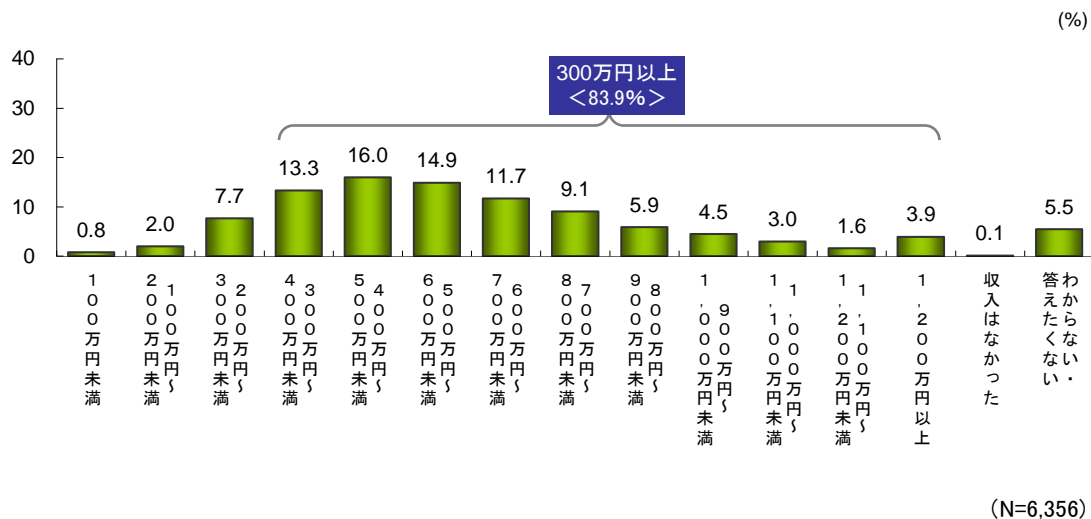
女性では、正規従業員で「200 万円～300 万円未満」（27.5%）、「300 万円～400 万円未満」（25.6%）が最も多く、過半数が年収『300 万円以上』である。一方、女性の非正規従業員は、「100 万円未満」（39.0%）がほぼ 4 割で最も多く、次いで「100 万円～200 万円未満」（28.7%）が 3 割弱となっており、年収『300 万円以上』の層は 1 割弱にとどまる。女性の自営業等も 7 割近くは年収 300 万円に満たない。

図表 19 個人年収（性・就労状況別）＜有職者＞ ※控除前



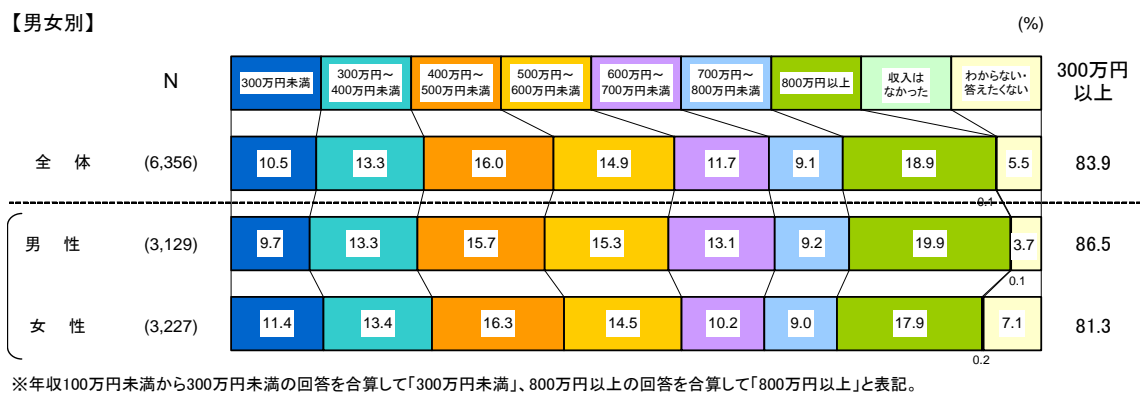
また、有配偶者（6,356人）について、夫婦二人合わせた年収（税金や社会保険料などの控除前）をみると、「400万円～500万円未満」（16.0%）が最も多く、夫婦二人合わせれば、8割以上が年収『300万円以上』である（図表20）。

図表20 夫婦年収＜有配偶者＞ ※控除前



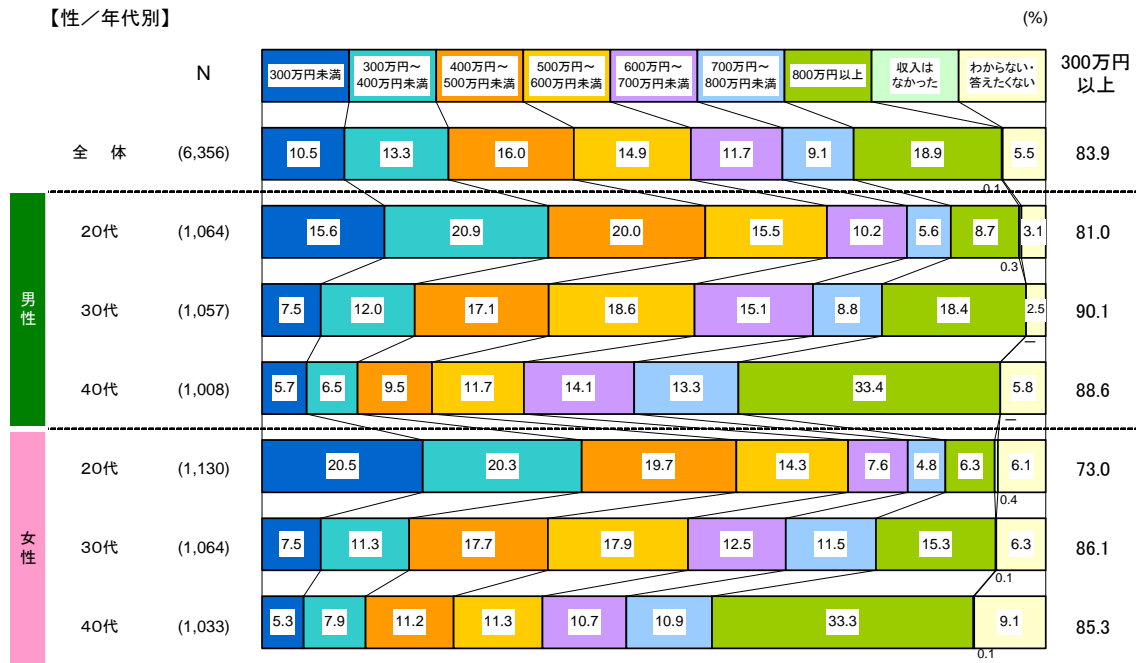
男女別にみると、個人年収ほど大きな男女差はみられない（図表21）。

図表21 夫婦年収（男女別）＜有配偶者＞ ※控除前



性・年代別にみると、男女とも年代が上がると夫婦年収は高くなっている（図表 22）。

図表 22 夫婦年収（性・年代別）＜有配偶者＞ ※控除前



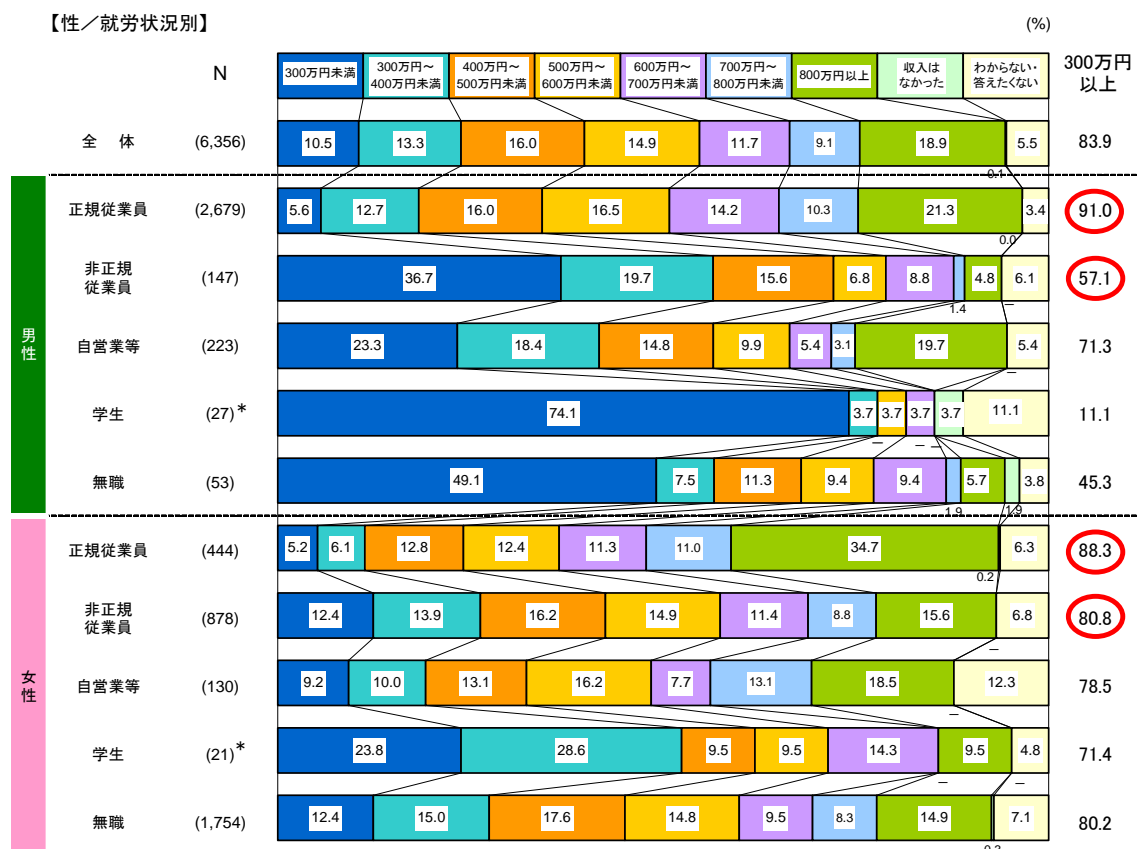
※年収100万円未満から300万円未満の回答を合算して「300万円未満」、800万円以上の回答を合算して「800万円以上」と表記。

性・就労状況別にみると、特に男性で、本人職業が正規従業員の場合は、非正規従業員の場合よりも、夫婦年収が高い傾向が顕著である（図表 23）。

男性の正規従業員では、夫婦年収が『300万円以上』の層は約9割だが、男性の非正規従業員では、夫婦年収が『300万円以上』の層は6割弱にとどまる。

女性の正規従業員でも、夫婦年収『300万円以上』の層は9割弱、非正規従業員では、夫婦『300万円以上』の層は約8割である。

図表 23 夫婦年収（性・就労状況別）＜有配偶者＞ ※控除前



※年収100万円未満から300万円未満の回答を合算して「300万円未満」、800万円以上の回答を合算して「800万円以上」と表記。

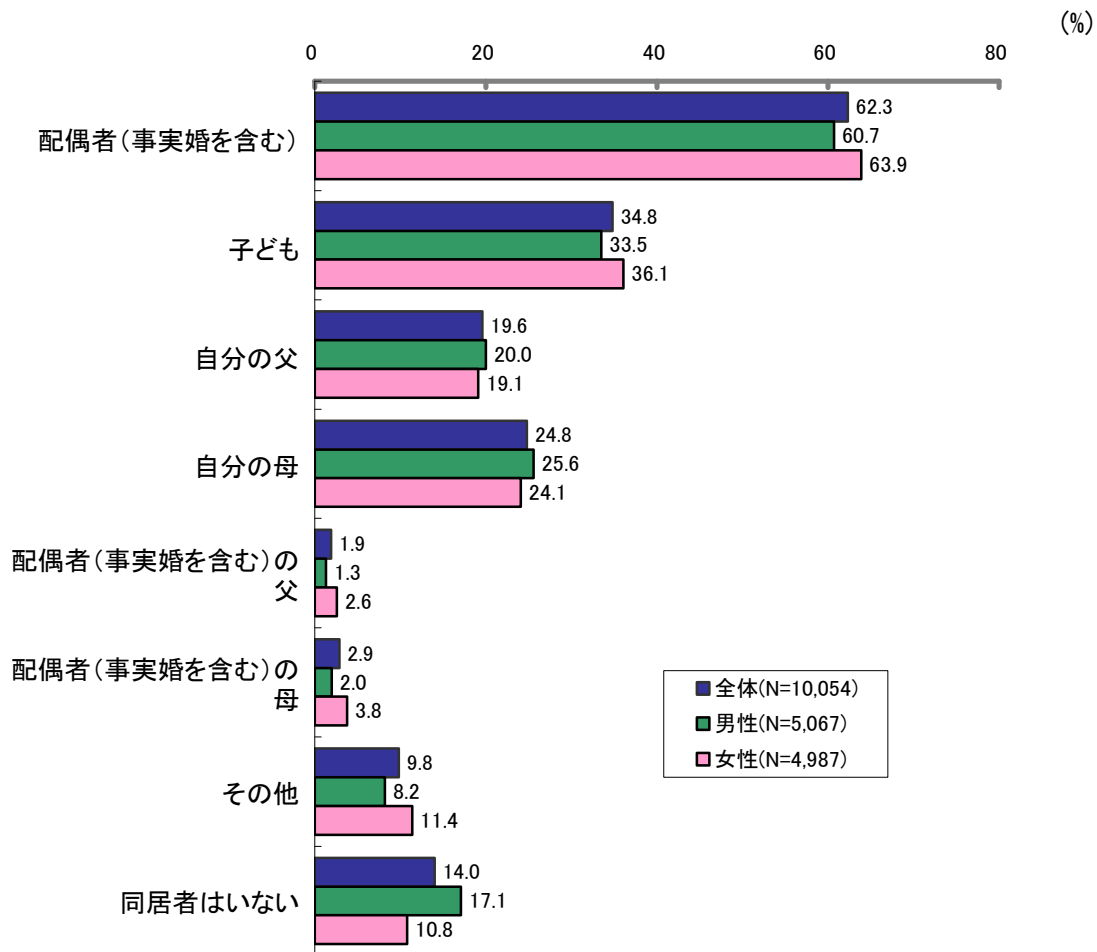
*サンプル数が少ないため参考値

(5) 同居家族

回答者の同居家族としては、「配偶者（事実婚を含む）」が62.3%で最も多く、以下「子ども」（34.8%）、「自分の母」（24.8%）、「自分の父」（19.6%）の順となっている（図表24）。

「同居者はいない」と回答した一人暮らしは14.0%で、女性（10.8%）より男性（17.1%）に多くなっている。

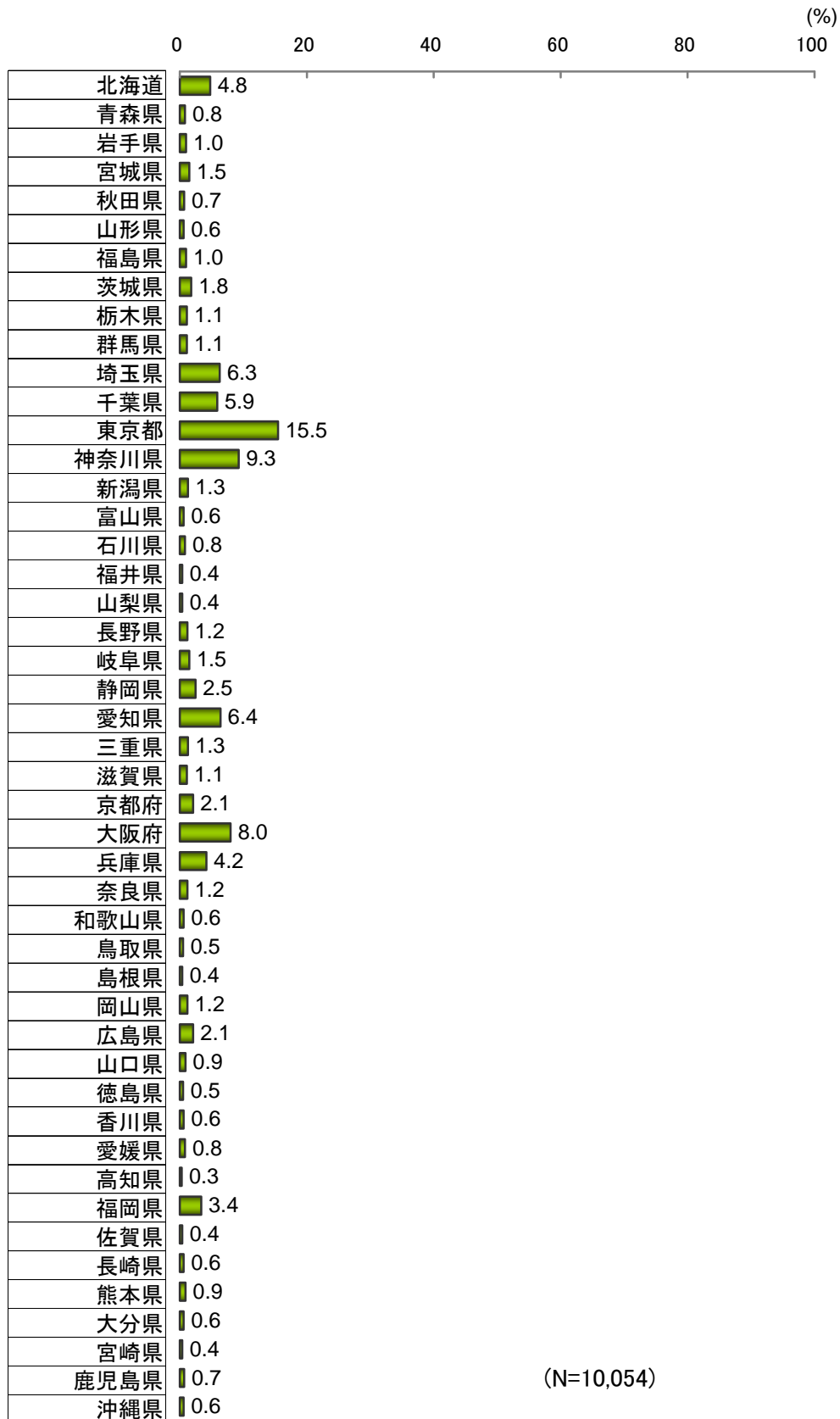
図表 24 同居家族



(6) 居住地域

回答者が居住している都道府県は、東京都(15.5%)、神奈川県(9.3%)、大阪府(8.0%)、愛知県(6.4%)等が中心だが、全都道府県に渡っている(図表 25)。

図表 25 住んでいる都道府県



(N=10,054)

回答者が住んでいる都道府県を地域でまとめてみると、「関東」（41.0%）が4割で最も多く、「近畿」（17.2%）、「中部」（16.5%）が1割台である（図表26）。

男女別の差はみられない。

図表 26 居住地域

